

Nice

Senior Suwa

No.146

令和4年3月15日発行

発行者：公益財団法人長野県長寿社会開発センター 諏訪シニア賛助会 会長・矢島昭弘  
〒392-8601 長野県諏訪市上川 1-1644-10 諏訪保健福祉事務所福祉課内 TEL0266-57-2910 FAX0266-57-2963

## 令和3年度 諏訪シニア賛助会 第30回活動発表会を開催



諏訪シニア賛助会は令和3年12月2日(木)茅野市民館のコンサートホール及びアトリエにて第30回活動発表会を開催しました。今年度は9月末まで新型コロナウイルスの感染警戒レベルが5に引き上げられており、ぎりぎりまで開催が危ぶまれておりましたが、世情も落ち着きを取り戻し、賛助会員皆が開催したいという熱意も加わって、活動発表会を開催することが出来ました。その中で舞台発表をする賛助会グループが少ない事を懸念し、役員とグループ長が熟慮に熟慮を重ねた結果、シニア大学

を卒業して自主的に活動している他団体のグループに声掛けをして参加の要請をいたしました。その結果4つのグループから活動発表会参加の意思表示をいただきました。賛助会グループと他団体グループとが協力し合って、賑やかに楽しく舞台を盛り上げてくれました、また観客席の皆さんも一緒になって体を動かし楽しみました。

試行錯誤して生まれた今回の活動発表会は新しい試みでしたが、改善点は多々あれどシニア世代の我々の精一杯の取り組みが報われた一日でした。

諏訪シニア賛助会活動発表会開会式が 10 時 45 分から始まり、賛助会矢島昭弘会長の挨拶があり、続いて長寿社会開発センター諏訪支部の望月支部長の開催祝辞を賜りました。

その後信州ねんりんピック高齢者作品展の受賞者の授与式も兼ねて行われました(P4 掲載)。11 時 15 分から舞台が始まり、グループの 1 年間の練習の成果を発表しました。

## ステージ発表

ちょうど 30 回という節目の活動発表会、前回と同様に茅野市民館で開催されました。今回は諏訪シニア賛助会グループだけでなく他団体で自主活動しているグループの参加を呼びかけて賛助会の枠を取り除き楽しく開催されることを目指しました。賛助会グループでは、「太極重力球同好会」「カラオケを楽しむ会」の 2 グループ、他団体では「スコップ三味線」「三水会」「フォークダンスチリリの会」「岳風会」の 4 グループと諏訪シニア大学生(1 年、2 年)と総勢 8 グループが発表、観客と一体になって舞台を盛り上げてくれました。日頃の練習成果を各グループとも十分に舞台上で発揮することが出来、躍動感溢れる舞台になりました。

スコップ三味線



カラオケを楽しむ会



三水会 ハンドベル



太極重力球同好会



チリリの会



岳風会



## 展示発表

展示発表はアトリエで行われました、展示グループは「ナイスシニアフォト」「ステンドグラスの会」「エスペランサ」「ボランティア若竹」「いきいき健康」「墨寿会」「ゴルフ愛好会」の 7 グループの作品が展示されました。今回は写真グループが加わりアトリエ会場のスペース一杯に賑やかに展示され見応えのある作品が多く揃いました。一人一人が精魂込めた作品は力作ぞろいで、ご高覧頂いた皆様には満足のいく作品展でした。

墨寿会の水墨画



ナイスシニアフォトの写真



エスペランサの皆さんと手作り作品



ステンドグラスの会の作品



模造紙による活動報告



模造紙による活動報告は  
いきいき健康 ボランティア若竹  
ゴルフ愛好会 エスペランサの  
4 グループです。

## 【高齢者作品展賞状授与式】

安曇野市で開催された 2021 信州ねんりんピック文化・芸術交流大会は9月8日/9日に審査会が行われました、諏訪支部関係では下記の通り5名の方々が入賞されました。

発表会に先がけて 2021 信州ねんりんピック高齢者作品展にて諏訪地域受賞者5名(出席4名)に賞状授与式を行いました。※作品は、長野県長寿社会開発センターのホームページに掲載しております。<https://nicesenior.or.jp/nenrin/shinshu/sakuhinten/>

部門	賞	作品名	受賞者氏名	居住地
彫刻	知事賞	常民	谷 由樹	富士見町
日本画	長寿社会開発センター 理事長賞	しあわせの時間	百瀬アキ子	岡谷市
日本画	安曇野市長賞	御曾岐神社舞台	伊藤高明	原村
写真	長野県社会福祉協議会 会長賞	エメラルドの雫	中山君夫	岡谷市
写真	奨励賞	祭りの母子	宮坂栄人	諏訪市

望月支部長から賞状を受け取る受賞者の皆さんと作品展示の様子



## 令和3年度役員の退任の挨拶

### 困難な時代を乗り切ろう

令和3年度 会長 矢島 昭弘



1月オンラインでの県の長寿社会開発センターの活動活性化検討会では県下全支部が今後の組織の存続に深刻な問題を抱えていた。まさに諏訪支部が歩んできた道そのものであった。その原因は根本的には社会的な構造変化であろう。シニア層が所属する一般的な諸団体でも後継者不足で解散に追い込まれているところが多いようである。

令和2年後半の役員選考準備委員会、3年度の新体制での1年、併せて1年半の任期をここで終了することになった。役員3名と事務局が一体となりチームワークよく運営できたことが何よりの誇りである。新しい会則では①1年ごとの輪番制役員の設定、②事業は総会などの了承を条件として自由に自発的に発揮してよい。の2本柱が制定された。新年度の役員が順調に選任されていることも併せて現段階ではこの新路線は間違っていないと信じている。長寿社会開発センターの内山理事長が主張する<人生100歳現役時代>と<賛助会グループもそうでないグループも手を携えることが賛助会の周知啓発にもなり、活動の活性化にも繋がる>(令和3年度賛助会グループ活動活性化検討会報告書)これは新時代を生きることでの正しい指摘だと思うが、具体的に賛助会活動に落とし込んでいくにはそう簡単なことではない。不透明な現況の中で諏訪シニア賛助会の進む道は大変険しいものはあり労苦もあると思うが、役員、事務局、全会員が結束していばらの道を進んでいただきたい。最後に、これまで私ども未熟な役員に暖かいご協力を注いで頂いた諸兄諸姉に心から感謝申し上げます。

### 連携の輪を広げよう

令和3年度 副会長 佐藤正昭



昨年1月臨時総会が開かれ諏訪シニア賛助会は再スタート役員は輪番制となり最初の年の役員に推薦されました。

その時思った事は、賛助会の行

事には会員の皆様がより多く楽しく参加できる体制づくりでした。会員相互の交流や連携が何より大切と考えています。そんな中で今年の活動発表会には、賛助会非加盟の団体が多数参加していただきました。賛助会グループのステージ発表が少ない事も理由の一つですが、外部団体と交流することで、他団体の良い面や自分たちの足りないところも見えて来て、新しい発想に繋がればと思います。しかし賛助会グループとの不公平の指摘もありました。将来的には外部団体が開・閉会式を含めて長い時間を私たちと共有でき、会場費や会場設営にも協力していただくことが重要で、共催となれば諏訪地域の団体・組織との交流がより一層促進できると考えます。いかがでしょうか？

今1年が終わりに近づいています。無理せず、出来る範囲でやってきました。グループ長様はじめ皆様のご協力を感謝申し上げます。

### 楽しい思い出を残して

令和3年度 副会長(会計) 百瀬アキ子



諏訪シニア賛助会が新しく生まれ変わってから1年半経ちました。会員数やグループ数が減少している中、新体制3人の役員と事務局とで効率よく運営出来たことは大変良かったと思っています

特に役員とグループ長全員で議論した役員の輪番制、誰にでも出来る役職作りは今までにない画期的な事案でした。この役員の輪番制は会員数が減っている中役員の仕事量の負担を減らし、出来る事を出来る範囲で無理なく進められる事を目的としています。またこの1年半で活動発表会を2回開催できました、試行錯誤を繰り返しながら楽しく成功裏に終わったことは、参加した全員の皆様のご協力の賜物と嬉しく思いました。この厳しい状況の中でも諏訪シニア賛助会は続いて行きますが、残りの人生楽しい思い出を作って行きましょう。

至らぬ点多々あった役員でしたが、皆様のご協力に感謝申し上げます。

## 令和 4 年度 新 3 役就任の抱負

去る 1 月 29 日（土）、輪番制で令和 4 年度の 3 役グループより選出された新 3 役による打合せがあり、役割が次の通り決定しました。

### 賛助会へのお誘い

令和 4 年度 会長 平井一義



6 年振りに賛助会執行役員として関わらせていただくこととなります。現今の本会は以前とは比べられないほど少人数でグループ数も少なくなっておりますが、強い志を持った会員で構成されているように見受けられます。本会のような高齢者主体の団体は誰でも年齢を重ねて活動が減ってゆくことは否めませんが、現役若しくは退職されたシニア世代の方々にもご加入いただき、活性化を計って行きたいものです。また、本会を離脱された人達やグループへの復帰のお誘いや行事への合体など検討すべき課題もあり、グループ長会などに働きかけて行きたいと思っております。さらに、シニア大学生に対しては社会参加活動の実践を体験されていますので、その延長線上に当会がお迎えできればと考えています。コロナ禍の中、困難な状況は今しばらく続くと思われなければなりません、会員の皆様と共に健康に留意して日々の活動を楽しく元気に続けられたら幸いです。

### 賛助会活動を活発にしましょう

令和 4 年度 副会長 渡邊 芳紀



私がシニア大学 39 期生として卒業し 3 年が経ちます、卒業後直ぐに「ゆめひろ」の児童食堂のお手伝いや活動支援を始めました。

まもなくエスペランサと名乗り賛助会に入会し 2 年が経ちました。経験したことは 2 度の活動発表会です。殆どの行事がコロナ感染症拡大で中止したとお聞きしました。この様な私なので賛助会を殆ど理解していません、これから活動していく中で勉強させていただきます。お話を聞くと役員は昨年からは輪番制になり 3 グループから 3 人の役員で正副会長と会計を決めて活動するとの事です。今世間では、長寿会や商工会、地域の福祉活動の会等が役員の手不足で解散に陥っています。これは高齢化が原因で、賛助会も例外ではありません。シニア大の在大学生も以前の 3 分の 1 以下となっておりますが、この学生に賛助会に一人でも多く入って頂くことが重要かと思っております。賛助会を楽しい会と致しましょう。

### 賛助会を盛り上げるためにも

#### 各種事業への参加・協力を！

令和 4 年度 副会長（会計）尾崎 孝



シニア大学 28 期生で岡谷市在住です。

賛助会の所属グループ「カラオケを楽しむ会」と「太極柔力球同好会」で活動しています。

この度、輪番制で副会長を務めることになりましたので、この一年間よろしくお祈いします。

さて、諏訪シニア賛助会の主要事業である活動発表会は各グループの支援と参加が不可欠であり、また、事業展開を進めるうえでシニア大生（OB 含め）との交流を深める必要があると考えます。また、事業を進める中で、急拡大のコロナ禍の対応が求められるなど、事業への支障を危惧するところとす。

賛助会員の皆様には、各種事業への参加、ご協力を是非お願いいたします。